

次期中間処理施設整備事業「地域振興策」に関する意見等

印西地区環境整備事業組合
次期中間処理施設整備事業
地域振興策検討委員会 委員長 福川 裕一 宛て

意見

平成 27年 9月 15日提出

委員名 大谷芳末

地域振興策 視察候補先の要望

先の周辺住民意見交換会の中間報告を受けまして、吉田区検討委員会で審議した結果、関心度の高い視察候補先を選びました。貴検討委員会の審議方向性にマッチング適いましたら、吉田区として本案希望致しますので、上申致します。宜しくご検討お願いします。

<添付『地域振興策 視察候補のご提案』ご参照下さい>

1. 今回上申視察候補先
視察先候補 1 笠間クライガルテン
視察先候補 2 農林水産省 植物工場 千葉大学拠点
2. 他の候補先（視察候補先3～7）
検討をすすめるにあたり、必要と認められそうな第二弾視察候補として案を上げています。まだ優先度は考慮しておりません。
3. その他
集客施設としての先進性、排熱最大限利用、農業振興先進性、緑地空間の保全などなど検討するに際し、私達自身が情報 Update、学習すべき事項が多く、これらの観点で2候補地を選びました。

地域振興策 視察候補のご提案



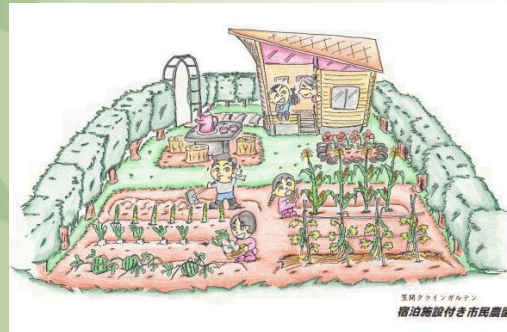
吉田区クリーンセンター検討委員会

平成27年9月15日

視察先候補1 笠間クライガルテン



バス・トイレ・キッチン付



単なる菜園にとどまらず、コミュニティ形成の場として、また重要な緑地空間として都市計画の中に位置づけられており、市民生活の向上や健康増進に大きな役割を担ってきました。



<滞在型市民農園>

- 全50区画
(身体障害者対応型：1区画)
- 1区画300㎡
- 約30㎡のラウベ(簡易宿泊施設)1棟、約100㎡の菜園、芝生、花壇
- 年間利用料：40万円/1区画

<日帰り市民農園>

- 全50区画
- 約30㎡の菜園
- 年間利用料：1万円/1区画
- 契約：滞在型・日帰りとも1年単位で最長5年間利用可

<直売所>

- さまざまな農業体験指導
- さまざまな講習会
漬物、味噌、こんにやく、ジャムづくり
- ほたるの里南指原新米試食販売
- バーベキュータイム
- 野菜自慢コンテスト
- 菜園コンテスト
- 笠間市内の陶芸教室
- 夕涼み会(8月)とクリスマス会(12月)。

茨城県笠間市本戸4258

視察先候補 2

農林水産省 植物工場 千葉大学拠点



講義付き見学コース

植物工場見学に講義が付いたコースです。見学は太陽光型、人工光型、選果・出荷施設等を一巡します。

見学の前後に資料を配布し、講義を行います。



※所要時間：1時間30分～2時間程度

※受付人数：各回40名まで

※講師：千葉大学名誉教授、千葉大学教授

視察先候補3 アーバンファーム



東京都千代田区大手町2-6-4



地域交流と地域振興を目指し、いつまでも地域住民の集う場所であり続けることを願って「のじまスコーラ」名付けられました。「農・食・学・芸」をテーマとした、6次産業化の拠点



アーバンファーム見学(30分程度)

農業関連研修(90分程度)

＜研修テーマ＞

排熱最大限有効活用と吉田区の実情に合わせた地域振興、農業振興をセットに考えて見る。

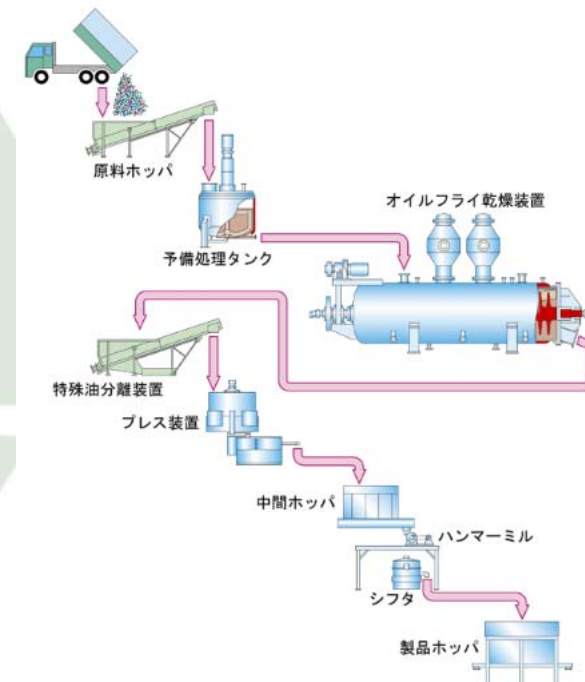
- 「のじまスコーラ」タイプの振興策を考えてみる。
- 「よしだスコーラ」が実現出来ないか？（道の駅を超える進化形）
- 強い農業経営者（食、農業、経営、人材マネジメント、マーケティングなどのMBA）人材育成を計る。

視察先候補4 城南島飼料化センター



- 株式会社アルフォ
- 東京都大田区城南島3-3-2
- 資本金4.5億円
- 営業種目：配合飼料原料の製造
- 受け入れ企業：金融機関、商業施設、各学校給食等、約1,000ヶ所
- 納入先：日本配合飼料
- 処理能力：168t/日
- 飼肥料製造量：30t/日

(株)アルフォ城南島飼料化センターは
「東京スーパーエコタウン事業」
の選定を受けた施設です



視察先候補5 齊藤農園（船橋市）



- 高度自動化ミツバ栽培
- 光や温度を完全制御する、独自に開発した自動化ラインなどによって「ミツバの18期作」を実現
- 2000坪の温室でミツバを水耕栽培している。1日当たりの出荷量は700～800ケース。

